

県外派遣報告書

審判員名	鎌形将悟	所属	クラブ連盟	
大会名	平成25年度 関東クラブバスケットボール選手権大会			
期間	平成26年2月1日(土)～2(日)			
会場	群馬県総合スポーツセンター ALSOK ぐんまアリーナ			
スケジュール				
期 日	内 容		場 所	
1/31(金)	審判会議		ホテル グレースイン前橋	
2/1(土)	1・2回戦		ALSOK ぐんまアリーナ	
2/2(日)	準決勝・決勝		"	
会議 講義 内容				
<p>1/31(金)小坂井氏、倉口氏 小坂井氏から「オールジャパン女子ファイナルを終えて」「関東クラブを迎えるにあたって」というお話を頂いた。オールジャパン決勝では、「1stコールは覚えていない」「気持ち逃げられない」など、試合前や試合中の正直な心境についてのお話を聞くことができた。関東クラブでは、試合中に知っておいてほしいことや基準作りはいつするか?→「そのプレーが”初めて”起こったとき」などのお話を頂いた。</p> <p>倉口氏からも基準作りの話の中で同様に「そのプレーが初めて起こったとき」に基準を示し、逃さないようにすること、4原則を相手との協力の上ですること、ゲーム前の準備についてお話を頂いた。</p> <p>2/2(日)安西氏 「良い位置・角度・視野分担・確認・見極め」をしっかりと行い、「始める→進める→終わらせる」ことの重要性のお話を頂いた。「より良い判定・審判とは?」「良くない判定・審判とは?」という題意の中で、「危機察知能力」を持つことや、感じることを大事にするべきという話があった。</p>				
担当試合	期 日	2/1(土)	男子 女子	1回戦
	対戦カード	QUEEN BEE(千葉) VS	韮崎KAS(山梨)	主審 副審
	相手審判	星野 吉孝(群馬)		
ミーティング内容		主任 梶 崇司(栃木)		
<p>最終スコアが120-32と大差となった試合だったが、内容として多くの現象があった。特に負けているチームが必至と相手のオフェンスを止めようとイリーガルな現象が最初から最後まで起きており、判定の基準にぶれがあった。一貫性をもっと求めるよう指摘があった。</p> <p>オールコートディフェンスの際、リードオフィシャルはバックコートからフロントコートへと移動する時にどこに目を配るか。追いかけるトレイルの審判と同じところを見ることがあるので、しっかりとボクシングインできるように自身の位置と、見るべき場所を考えるように指導を頂いた。</p>				
全体の感想				
<p>今回の1泊審判員の中で主審の割り当てを頂いたのが自分だけであり、その割り当ての意図や重さを感じ、また考え審判に臨みました。関東大会の派遣審判員として地元の公認審判員と主審として試合をするにあたりまだまだもっと感じなければならぬことや、もっと悩まなければならぬことがあり、改めて審判の難しさを痛感させられました。</p> <p>ここ10数年で関東クラブのメンバーが大きく変わりました。各都道府県でA級はもちろんのこと、AA、国際審判員と誕生しています。埼玉のクラブ連盟の審判員が各個人としても、組織としてももっと努力していかなければならないと、改めて感じさせられた大会でした。</p>				